

[特集](#)[理念・方針・会社概要](#)[マネジメント・CSR経営](#)[環境側面](#)[社会側面](#)[横浜ゴムCSRサイト TOP](#) > CSRウェブの編集方針

# CSRウェブの編集方針

## ● 編集方針

### 冊子とウェブに分けて情報開示

各媒体の特性にあわせ、冊子とウェブを使い分けて情報を開示しています。

#### ■ 冊子

CSR経営ビジョンに基づき、「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業」になるための、考え方や活動内容を、従業員の日常の活動や座談会の様子を通じて紹介。分かりやすい編集を心掛けています。

#### ■ ウェブ

情報の網羅性を重視して、GRIガイドラインを参考に作成。ステークホルダー別の報告となっています。

### GRIガイドラインを用い自己検証

本レポートは、GRIの報告枠組みに基づいて作成しています。以下の適用レベルに照合した結果、本レポートのアプリケーション・レベルはBに相当します。



## 報告書適用レベル

	C	C+	B	B+	A	A+	
標準 開示	G 3プロフィールの 情報開示 OUTPUT	報告 1. 1 2. 1-2. 10 3. 1-3. 8, 3. 10-3. 12 4. 1-4. 4, 4. 14-4. 15	外部保証を受けた報告書	レベルCの要求項目に以下を 加える 1. 2 3. 9, 3. 13 4. 5-4. 13, 4. 16-4. 17	外部保証を受けた報告書	レベルBと同様	外部保証を受けた報告書
	G 3マネジメント・ アプローチの開示 OUTPUT	要求項目なし		各カテゴリの指標に対するマネー ジメント・アプローチの開示		各カテゴリの指標に対するマネー ジメント・アプローチの開示	
	G 3と業種別 補足文書の パフォーマンス 指標 OUTPUT	パフォーマンス指標について 少なくとも10の報告がある こと。そのうち、社会、経済、 環境分野について少なくとも 一つ報告があること		パフォーマンス指標について少 なくとも20の報告があること。その うち、経済、環境、人権、労働、 社会、製品責任分野について少 なくとも一つ報告があること		G 3の中核指標及び業種別補足文書※ のパフォーマンス指標に対応している こと。重要性の原則に考慮して、 a) 指標について報告、または b) 指標の報告の省略説明があること	

※ 最終版の業種別補足文書

## 情報の報告期間

2009年度（2009年4月～2010年3月）。大きな進捗があったものは2010年7月までの状況を記載しています。

## 報告範囲

横浜ゴムおよび国内外グループ会社

経済側面	横浜ゴムおよび連結対象子会社
環境側面	横浜ゴムの国内8生産事業所。その他、国内外のグループ会社について その一部データを記載しています。
社会側面	横浜ゴムの本社、国内8生産事業所および国内外グループ会社の取り組 みの一部を掲載しています。

※ヨコハマモールド（株）：設立に伴い、2009年7月からのデータを集計しています。  
日本パワーブレーキ（株）：2009年10月に売却したため、2009年度のデータには含んでいません。

## 参考にしたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン（2007年版）」
- ・GRI「サステナビリティレポーティングガイドライン2006」

\*GRI=Global Reporting Initiative

## CSRウェブの年度更新

年1回（毎年9月）

※前回 2009年9月  
※次回 2011年9月

## 報告書の編集責任

---

CSR情報委員会

お問い合わせ先

広報部 03-5400-4531

CSR・環境推進室 0463-35-9512

## 見直しに関する注意事項

---

本報告書の記載内容には、現在の事実だけでなく、将来の予測、計画、目標などが含まれています。これらは現時点（2010年7月）で入手できた情報に基づく仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。実際のパフォーマンスは、横浜ゴムグループの事業活動だけでなく、世界経済の動向、地球環境の変化などに影響を受けるため、本報告書に記載した予測、計画、目標が実際とは異なる可能性があります。読者の皆さまには、このことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

---

[ページの最上部へ](#)